

ホルムアルデヒド発散区分資料

DAIKEN スタイリッシュファニチャー **MiSEL**

F☆☆☆☆
(住宅部品表示ガイドラインによる)

この度はDAIKEN スタイリッシュファニチャー MiSEL(ミセル)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表のようになっております。建築確認の際に本資料をご利用ください。

●製品の構成とホルムアルデヒド発散区分



規制対象外 (F☆☆☆☆)

構成部位	内装仕上部分 (表面)				下地部分 (裏面・内面)			
	※A787' t' 発散建築材料	発散区分	認定番号		※A787' t' 発散建築材料	発散区分	認定番号	
①ウッド扉・カウンター・エンドパネル	樹脂シート張PB	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0147	同	左		
	ポリサンド紙張PB	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0149	同	左		
	突板張MDF	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	K-001958	同	左		
	塗装MDF	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	K-000018	同	左		
②集成材カウンター・テーブル・エンドパネル	塗装集成材	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0135	同	左		
③ユニット本体	天底板・側板・引出本体・バックパネル	化粧紙張PB	大臣認定品	MFN-0149	同	左		
	裏板・引出底板	-	-	-	化粧紙張MDF	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0144
④TVボード オープンタイプ 壁寄タイプ	カウンター・側板・中仕切板	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0143	同	左	
	単色ホワイト・ブラックのカウンター	化粧紙張PB	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0149	同	左	
	側板・中仕切・棚板・底板	化粧紙張PB	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0149	同	左	
⑤TVボード キャスタータイプ コーナータイプ	カウンター	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0143	同	左	
		塗装MDF	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	K-000018	同	左	
	側板・中仕切板・棚板・底板・引出本体	化粧紙張PB	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0149	同	左	
	引出底板・中仕切板	-	-	-	化粧紙張MDF	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0144
⑥納まり部材 (ベット用パネル・防湿パネル)	メラミン樹脂板張PB	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0148	同	左		
規制対象外部位・告示対象外								
⑦アルミフレーム扉/ハンドル/丁番等の金具	告示対象外							
⑧棚板・納まり部材等	規制対象外部位：規制対象外 (F☆☆☆☆) 同等品質材料を使用							

◎製品に関する情報・お問い合わせ

最寄の弊社営業所(施工説明書に記載)にお問い合わせいただくか、弊社ホームページ (<http://www.daiken.jp/>) をご利用下さい。



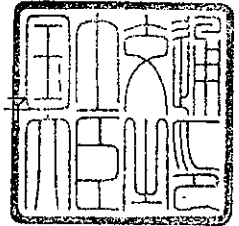
認 定 書

国 住 指 第 5 7 8号
平 成 15 年 6 月 16 日

大建工業株式会社

代表取締役社長 井邊博行 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第20条の5第4項（規制対象外のホルムアルデヒド発散建築材料：F☆☆☆☆）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

MFN － 0143

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

オレフィンフィルム張/酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤
塗/MDF

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 材料名

オレフィンフィルム張／酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤塗／MDF

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の形状・寸法等を表 1 に示す。

表 1 申請仕様の形状・寸法等

項 目	申 請 仕 様
形状	平板又は曲面
表面の形状	平滑又はエンボス*
厚さ	片面化粧：2.57～30.2mm 両面化粧：2.64～30.4mm
大きさ	最大 1230×5000mm
密度	450 (0,-80) ～720 (+80,0) kg/m ³
表面化粧	片面または両面

*表面に微細な凹凸加工を施したもの

3. 申請仕様の材料構成

申請仕様の材料構成を表 2 に示す。

表 2 申請仕様の材料構成

項 目	申 請 仕 様
(1)化粧材	材質：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次の樹脂（プラスチック）フィルム。 イ）～リ）の1つまたは組み合わせ。 イ）ポリエチレン ロ）ポリプロピレン ハ）オレフィン ニ）ポリスチレン ホ）ポリエチレンテレフタレート(PET) ヘ）PET-G（グリコール変性PET） ト）ポリエステル チ）塩化ビニル リ）アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン（ABS） 厚さ：0.07～0.20mm 印刷：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散材料に該当しない材料による単色もしくは柄模様。

つづき

(2)接着剤	種類：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用していないもの）：①～⑧の1つまたは組み合わせ ①酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤 ②ビニル共重合樹脂系エマルション形接着剤 ③ゴム系ラテックス形接着剤 ④エポキシ樹脂系接着剤 ⑤ウレタン樹脂系接着剤 ⑥ホットメルト形接着剤 ⑦水性高分子-イソシアネート系接着剤 ⑧ウレタン変成ビニル系エマルション系接着剤 塗布量（処理時）：55g/m²以上 150g/m²以下
--------	---

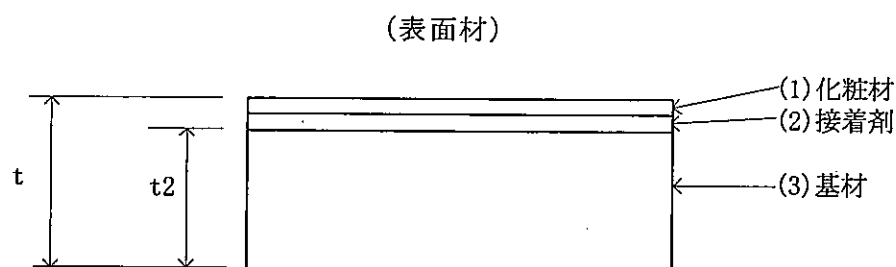
つづく

つづき

(3) 基材	材質：次に示すミディアムデンシティーファイバーボード（以下MDFという）のいずれか1つ。 ①JIS A5905：2003（繊維板）に基づくF☆☆☆の表示で②に示す仕様のもの。 ②JIS A5905：1994（繊維板）に基づくE0表示で次の仕様のもの。 厚さ：2.5～30mm 密度：450（0,-80）～720（+80,0）kg/m³ 接着剤：次に示す接着剤：イ）～ハ）のいずれか イ）ユリア樹脂接着剤 ロ）ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ）第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの） ：イソシアネート樹脂接着剤 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ2.5mmで200kg/m³ ～最小量 厚さ30mmで53kg/m³ ③次の仕様のもの。 厚さ：2.5～30mm 樹種：ラワンなどの南洋材 密度：450（0,-80）～720（+80,0）kg/m³ 接着剤：次に示す接着剤：イ）～ニ）のいずれか イ）ユリア樹脂接着剤 ロ）ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ）第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの） ：イソシアネート樹脂接着剤 ニ）イ）とハ）の混合 混合割合：ユリア樹脂接着剤 95質量% イソシアネート樹脂接着剤 5質量% 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ2.5mmで200kg/m³ ～最小量 厚さ30mmで53kg/m³
---------------	---

4. 申請仕様の断面図

申請仕様の断面図を図 1 及び図 2 に示す。

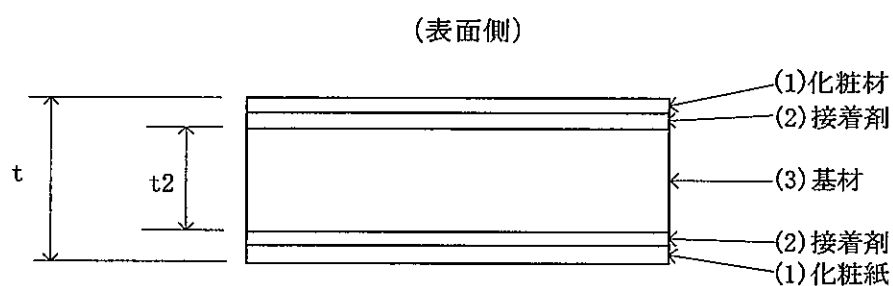


t : 2.57mm 以上 30.2mm 以下

$t2$: 2.5mm 以上 30.0mm 以下

片面化粧

図 1 断面図



t : 2.64mm 以上 30.4mm 以下

$t2$: 2.5mm 以上 30.0mm 以下

両面化粧

図 2 断面図



認 定 書

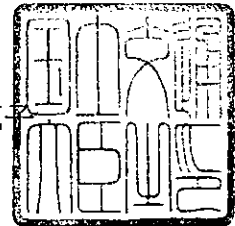
国 住 指 第 5 7 9号

平 成 15 年 6 月 16 日

大建工業株式会社

代表取締役社長 井邊博行 様

国土交通大臣 林 寛



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第20条の5第4項（規制対象外のホルムアルデヒド発散建築材料：F☆☆☆☆）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

MFN - 0144

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

コート紙張/酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤塗/MDF

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 材料名

コート紙張／酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤塗／MDF

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の形状・寸法等を表 1 に示す。

表 1 申請仕様の形状・寸法等

項 目	申 請 仕 様
形状	平板又は曲面
表面の形状	平滑又はエンボス*
厚さ	2.5～36.0mm
大きさ	最大 1230×5000mm
密度	450(0,-80)～720 (+80,0) kg/m ³
表面化粧	片面もしくは両面

*表面に微細な凹凸加工を施したもの

3. 申請仕様の材料構成

申請仕様の材料構成を表2に示す。

表2 申請仕様の材料構成

項 目	申 請 仕 様
(1)化粧材	材質：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない以下に示す材料のうち、①の単体、もしくは①および②の組合わせ。 ① 紙：次に示すイ)～ニ)の1つまたは組合わせ イ) コート紙 ロ) ポリサンド紙 ハ) クラフト紙 ニ) 強化紙：1) ～4) のいずれか一つを含浸したもの 1) アクリル樹脂 2) エポキシ樹脂 3) ポリアミド樹脂 4) アクリルアミド樹脂 ② 樹脂(プラスチック)： 次に示すイ)～ト)の1つまたは組合わせ イ) ポリエチレン ロ)ポリプロピレン ハ) オレフィン ニ) ポリスチレン ホ) ポリエステル ヘ) ウレタン ト) ポリエチレンテレフタレート(PET) 質量：23～250g/m² 印刷：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない材料による単色もしくは柄模様。 構成：紙の単層もしくは(2)接着剤又は熱圧着による紙／樹脂、紙／樹脂／紙との積層。
(2)接着剤	種類：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用していないもの)：①～⑥の1つ又は混合 ①酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤 ②ウレタン樹脂系接着剤 ③ビニル共重合樹脂系エマルション形接着剤 ④ゴム系ラテックス系接着剤 ⑤アクリル樹脂系エマルション形接着剤 ⑥エチレン-酢酸ビニル系エマルション形接着剤 塗布量(処理時)：55～150g/m²

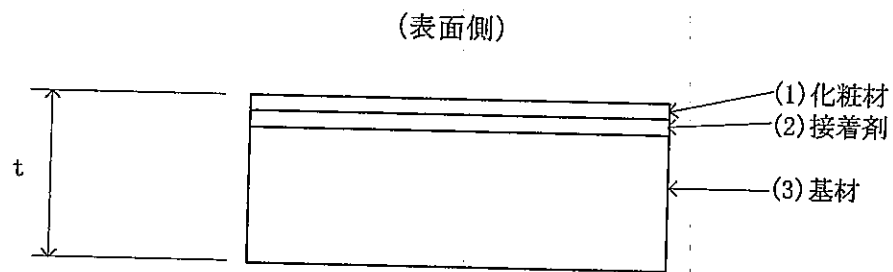
つづく

つづき

(3) 基材	材質：次に示すミディアムデンシティファイバーボード（以下MDFという）のいずれか1つ。 ①JIS A5905：2003（繊維板）に基づくF☆☆☆の表示で②に示す仕様のもの。 ②JIS A5905：1994（繊維板）に基づくE0表示で次の仕様のもの。 厚さ：2.5～36mm 接着剤：次に示す接着剤：イ）～ハ）のいずれか イ）ユリア樹脂接着剤 ロ）ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ）第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの） ：イソシアネート樹脂接着剤 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ2.5mmで200kg/m³ ～最小量 厚さ36mmで53kg/m³ ③次の仕様のもの。 厚さ：2.5～36mm 樹種：ラワンなどの南洋材 密度：450(0,-80)～720 (+80,0) kg/m³ 接着剤：次に示す接着剤：イ）～ニ）のいずれか イ）ユリア樹脂接着剤 ロ）ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ）第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの） ：イソシアネート樹脂接着剤 ニ）イ）とハ）の混合 混合割合：ユリア樹脂接着剤 95質量% イソシアネート樹脂接着剤 5質量% 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ2.5mmで200kg/m³ ～最小量 厚さ36mmで53kg/m³
--------	--

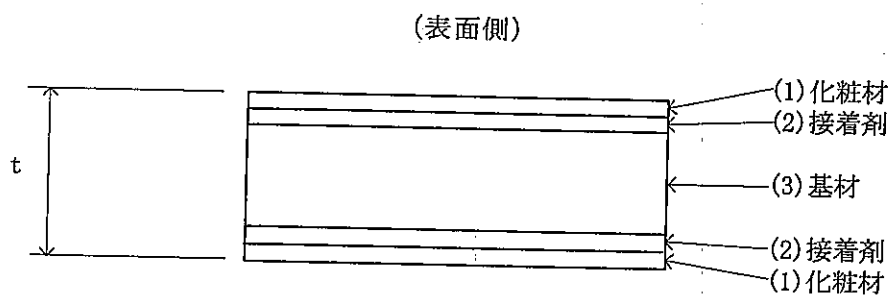
4. 申請仕様の断面図

申請仕様の断面図を図 1 及び図 2 に示す。



t : 2.5mm 以上 36mm 以下

片面化粧
図 1 断面図



t : 2.5mm 以上 36mm 以下

両面化粧
図 2 断面図

認 定 書

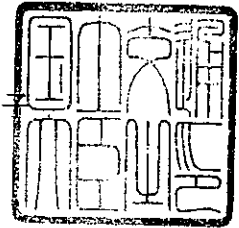
大建工業株式会社

代表取締役社長 井邊博行 様

国 住 指 第 5 8 1号

平 成 1 5 年 6 月 1 6 日

国土交通大臣 林 寛



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第20条の5第4項（規制対象外のホルムアルデヒド発散建築材料：F☆☆☆☆）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

MFN － 0147

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

オレフィンフィルム張/ウレタン変成ビニル系エマルション形接
着剤塗/パーティクルボード

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 材料名

オレフィンフィルム張／ウレタン変成ビニル系エマルション形接着剤塗／パーティクルボード

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の形状・寸法等を表 1 に示す。

表 1 申請仕様の形状・寸法等

項 目	申 請 仕 様
形状	平板又は曲面
表面の形状	平滑又はエンボス*
表面化粧	片面もしくは両面
厚さ	片面化粧：12.1～20.2mm 両面化粧：12.2～20.4mm
大きさ	最大 1210 × 5000 mm
密度	550(0,-150)～750 (+150,0) kg/m ³

*表面に微細な凹凸加工を施したもの

3. 申請仕様の材料構成

申請仕様の材料構成を表 2 に示す。

表 2 申請仕様の材料構成

項 目	申 請 仕 様
(1)化粧材	材質：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す化粧材。 樹脂フィルム 次に示すイ)～リ)の1つまたは組み合わせ イ) ポリエチレン ロ) ポリプロピレン ハ) オレフィン ニ) ポリスチレン ホ) ポリエチレンテレフタレート (PET) ヘ) PET-G(グリコール変成PET) ト) ポリエステル チ) 塩化ビニル リ) アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン (ABS) 厚さ：0.1～0.2mm 印刷： 第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない材料による単色もしくは柄模様。
(2)接着剤	種類：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用していないもの）：①～⑥の1つ又は混合 ①酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤 ②ウレタン樹脂系接着剤 ③ビニル共重合樹脂系エマルション形接着剤 ④ゴム系ラテックス系接着剤 ⑤ウレタン変成ビニル系エマルション形接着剤 ⑥エチレン-酢酸ビニル系エマルション形接着剤 塗布量（処理時）：80～150g/m²

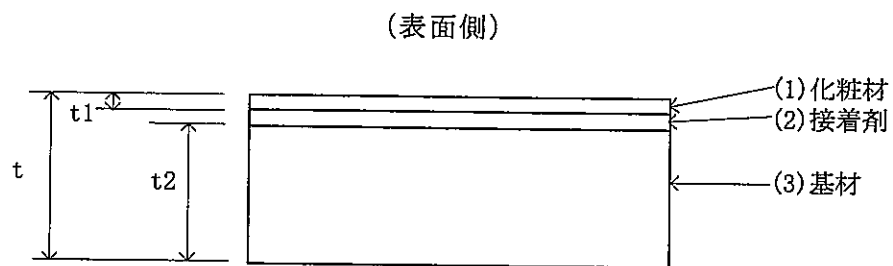
(3) 基材	材質：次に示すパーティクルボードのいずれか1つ。 ①JIS A 5908-2003に基づくパーティクルボード、F☆☆☆の表示で②に示す仕様のもの。 ②JIS A 5908-2000に基づくパーティクルボード、E0の表示で次の仕様のもの。 厚さ：12～20mm 密度：550(0,-150)～750 (+150,0) kg/m³ 接着剤：次に示す接着剤：イ)～ハ)のいずれか イ) ユリア樹脂接着剤 ロ) ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ) 第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの) ：イソシアネート樹脂接着剤 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ12mmで134 kg/m³ ～最小量 厚さ20mmで44 kg/m³ ③次の仕様のもの 厚さ：12～20mm 密度：550(0,-150)～750 (+150,0) kg/m³ 樹種：ラワンなどの南洋材 接着剤：次に示す接着剤：イ)～ハ)のいずれか イ) ユリア樹脂接着剤 ロ) ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ) 第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの) ：イソシアネート樹脂接着剤 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ12mmで134 kg/m³ ～最小量 厚さ20mmで44 kg/m³
--------	---

つづき

(4) 接着剤	種類：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用していないもの）：①～⑥の1つ又は混合 ①酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤 ②ウレタン樹脂系接着剤 ③ビニル共重合樹脂系エマルション形接着剤 ④ゴム系ラテックス系接着剤 ⑤アクリル樹脂系エマルション形接着剤 ⑥エチレン-酢酸ビニル系エマルション形接着剤 塗布量：30～150g/m²
(5) 化粧材	材質：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない以下に示す材料のうち、①の単体、または②の単体、もしくは②および③の組合わせ。 ①樹脂フィルム 次に示すイ)～リ)の1つまたは組み合わせ イ) ポリエチレン ロ) ポリプロピレン ハ) オレフィン ニ) ポリスチレン ホ) ポリエチレンテレフタレート (PET) ヘ) PET-G(グリコール変成PET) ト) ポリエステル チ) 塩化ビニル リ) アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン (ABS) 厚さ：0.1～0.2mm 印刷：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散材料に該当しない材料による単色もしくは柄模様 ②紙：次に示すイ)～ニ)の1つまたは組合わせ イ) コート紙 ロ) ポリサンド紙 ハ) クラフト紙 ニ) 強化紙：1)～4)のいずれか一つを含浸したもの 1) アクリル樹脂 2) エポキシ樹脂 3) ポリアミド樹脂 4) アクリルアミド樹脂 ③樹脂(プラスチック)： 次に示すイ)～ト)の1つまたは組合わせ イ) ポリエチレン ロ) ポリプロピレン ハ) オレフィン ニ) ポリスチレン ホ) ポリエステル ヘ) ウレタン ト) ポリエチレンテレフタレート (PET) 質量：23～250g/m² 印刷：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない材料による単色もしくは柄模様。 構成：紙の単層もしくは(4)接着剤又は熱圧着による紙／樹脂、紙／樹脂／紙との積層。

4. 申請仕様の断面図

申請仕様の断面図を図 1 及び図 2 に示す。



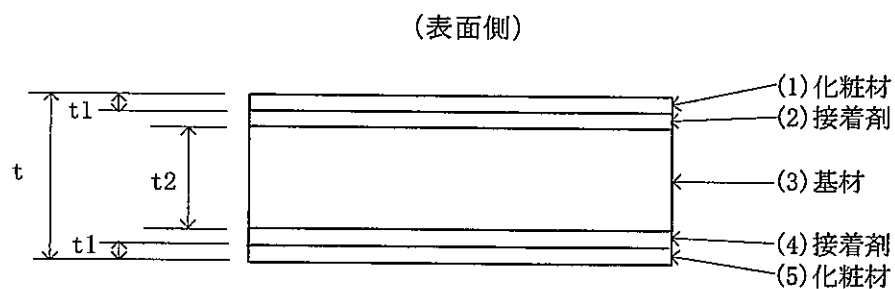
t : 12.1mm 以上 20.2mm 以下

$t1$: 0.1mm 以上 0.2mm 以下

$t2$: 12mm 以上 20mm 以下

片面化粧

図 1 断面図



t : 12.2mm 以上 20.4mm 以下

$t1$: 0.1mm 以上 0.2mm 以下

$t2$: 12mm 以上 20mm 以下

両面化粧

図 2 断面図



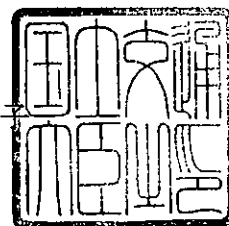
認 定 書

国 住 指 第 5 8 3号
平 成 1 5 年 6 月 1 6 日

大建工業株式会社

代表取締役社長 井邊博行 様

国土交通大臣 林 寛



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第20条の5第4項（規制対象外のホルムアルデヒド発散建築材料：F☆☆☆☆）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

MFN － 0148

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

両面メラミン樹脂含浸紙張/ゴム系溶剤形接着剤塗/パーティクル
ボード

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 材料名

両面メラミン樹脂含浸紙張／ゴム系溶剤形接着剤塗／パーティクルボード

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の形状・寸法等を表 1 に示す。

表 1 申請仕様の形状・寸法等

項 目	申 請 仕 様
形状	平板
表面の形状	平滑又はエンボス
厚さ	19.6～31.6mm
大きさ	最大 1210 × 5000 mm
密度	550(0,-150)～750 (+150,0) kg/m ³
表面化粧	両面

3. 申請仕様の材料構成

申請仕様の材料構成を表 2 に示す。

表 2 申請仕様の材料構成

項 目	申 請 仕 様						
(1)化粧材	材質：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない材料：メラミン樹脂板 厚さ：0.8mm 原紙：チタン紙 原紙質量：80g/m² 含浸樹脂：メラミン樹脂及びフェノール樹脂 混合比（処理時）： <table> <tr> <td>メラミン樹脂</td><td>1～20質量%</td></tr> <tr> <td>フェノール樹脂</td><td>20～40質量%</td></tr> <tr> <td>揮発成分</td><td>40～79質量%</td></tr> </table> 含浸量：メラミン樹脂 20g/m²以下 フェノール樹脂 40g/m²以下 印刷：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない材料による単色もしくは柄模様。	メラミン樹脂	1～20質量%	フェノール樹脂	20～40質量%	揮発成分	40～79質量%
メラミン樹脂	1～20質量%						
フェノール樹脂	20～40質量%						
揮発成分	40～79質量%						

つづき

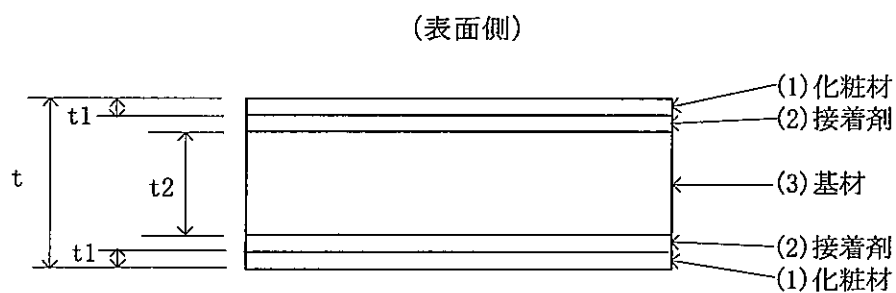
(2)接着剤	種類：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用していないもの）：①～④ 1 つ又は混合 ①酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤 ②ウレタン樹脂系接着剤 ③ビニル共重合樹脂系エマルション形接着剤 ④ゴム系ラテックス系接着剤 ⑤ゴム系溶剤形接着剤 塗布量（処理時）：20～150g/m²
--------	---

つづく

(3) 基材	材質：次に示すパーティクルボードのいずれか 1 つ。 ① JIS A 5908-2003に基づくパーティクルボード、F☆☆☆の表示で②に示す仕様のもの。 ② JIS A 5908-2000に基づくパーティクルボード、E0の表示で次の仕様のもの。 厚さ：18～30mm 密度：550(0,-150)～750 (+150,0) kg/m³ 接着剤：次に示す接着剤：イ) ～ハ) のいずれか イ) ユリア樹脂接着剤 ロ) ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ) 第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの) ：イソシアネート樹脂接着剤 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ18mmで132 kg/m³ ～最小量 厚さ30mmで44 kg/m³ ③ 次の仕様のもの 厚さ：18～30mm 密度：550(0,-150)～750 (+150,0) kg/m³ 樹種：ラワンなどの南洋材 接着剤：次に示す接着剤：イ) ～ハ) のいずれか イ) ユリア樹脂接着剤 ロ) ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ) 第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの) ：イソシアネート樹脂接着剤 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ18mmで132 kg/m³ ～最小量 厚さ30mmで44 kg/m³
--------	--

4. 申請仕様の断面図

申請仕様の断面図を図 1 に示す。



t : 19.6mm 以上 31.6mm 以下

t_1 : 0.8mm

t_2 : 18mm 以上 30mm 以下

両面化粧

図 1 断面図



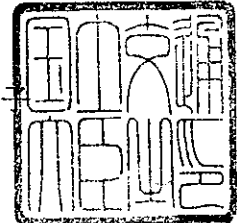
認 定 書

国 住 指 第 5 8 4 号
平 成 1 5 年 6 月 1 6 日

大建工業株式会社

代表取締役社長 井邊博行 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第20条の5第4項（規制対象外のホルムアルデヒド発散建築材料：F☆☆☆☆）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

MFN － 0149

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

コート紙張/酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤塗/パーティクルボード

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1. 材料名

コート紙張／酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤塗／パーティクルボード

2. 申請仕様の形状・寸法等

申請仕様の形状・寸法等を表 1 に示す。

表 1 申請仕様の形状・寸法等

項 目	申 請 仕 様
形状	平板又は曲面
表面の形状	平滑又はエンボス*
厚さ	片面化粧：12～30mm 両面化粧：9～30mm
大きさ	最大 1210 × 5000 mm
密度	550(0,-150)～750 (+150, 0) kg/m ³
表面化粧	片面もしくは両面

*表面に微細な凹凸加工を施したもの

3. 申請仕様の材料構成

申請仕様の材料構成を表2に示す。

表2 申請仕様の材料構成

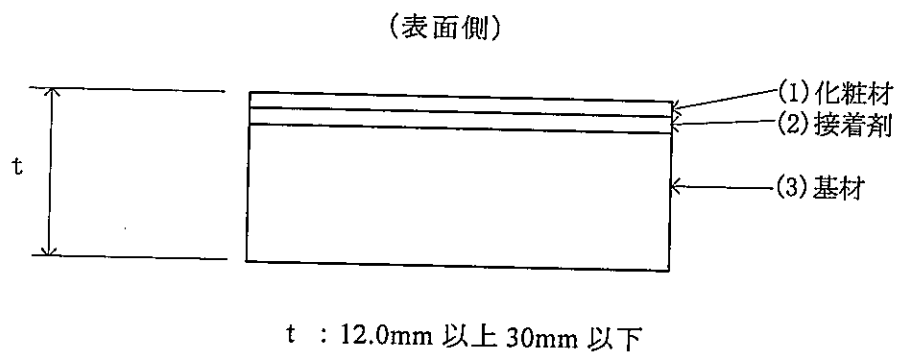
項 目	申 請 仕 様
(1)化粧材	材質：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない以下に示す材料のうち、①の単体、もしくは①および②の組合わせ。 ① 紙：次に示すイ)～ニ)の1つまたは組合わせ イ) コート紙 ロ) ポリサンド紙 ハ) クラフト紙 ニ) 強化紙：1) ～4) のいずれか一つを含浸したもの 1) アクリル樹脂 2) エポキシ樹脂 3) ポリアミド樹脂 4) アクリルアミド樹脂 ② 樹脂(プラスチック)： 次に示すイ)～ト)の1つまたは組合わせ イ) ポリエチレン ロ) ポリプロピレン ハ) オレフィン ニ) ポリスチレン ホ) ポリエステル ヘ) ウレタン ト) ポリエチレンテレフタレート (PET) 質量：23～250g/m² 印刷：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない材料による単色もしくは柄模様。 構成：紙の単層もしくは(2)接着剤による紙／樹脂、紙／樹脂／紙との積層。
(2)接着剤	種類：第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用していないもの）：①～⑥の1つ又は混合 ①酢酸ビニル樹脂系エマルション形接着剤 ②ウレタン樹脂系接着剤 ③ビニル共重合樹脂系エマルション形接着剤 ④ゴム系ラテックス系接着剤 ⑤アクリル樹脂系エマルション形接着剤 ⑥エチレン-酢酸ビニル系エマルション形接着剤 塗布量（処理時）：50～150g/m²

つづき

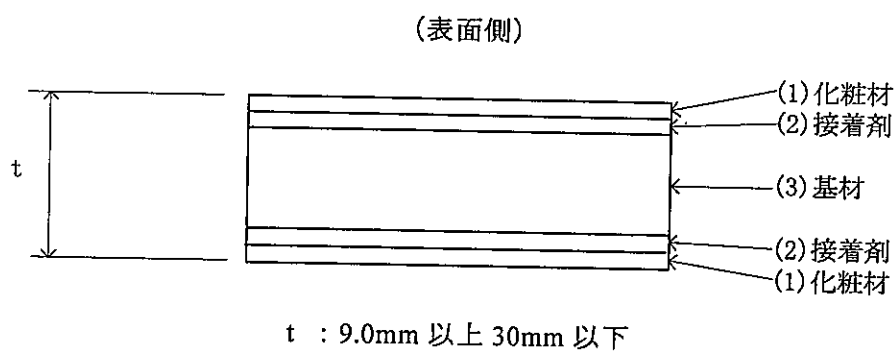
(3) 基材	材質：次に示すパーティクルボードのいずれか1つ。 ①JIS A 5908-2003に基づくパーティクルボード、F☆☆☆の表示で②に示す仕様のもの。 ②JIS A 5908-2000に基づくパーティクルボード、E0の表示で次の仕様のもの。 厚さ： 片面化粧：12～30mm 両面化粧：9～30mm 密度：550(0,-150)～750 (+150, 0) kg/m³ 接着剤：次に示す接着剤：イ)～ハ)のいずれか イ) ユリア樹脂接着剤 ロ) ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ) 第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシンノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの)：イソシアネート樹脂接着剤 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ12mmで134 kg/m³ ～最小量 厚さ20mmで44 kg/m³ ③次の仕様のもの 厚さ： 片面化粧：12～30mm 両面化粧：9～30mm 密度：550(0,-150)～750 (+150, 0) kg/m³ 樹種：ラワンなどの南洋材 接着剤：次に示す接着剤：イ)～ハ)のいずれか イ) ユリア樹脂接着剤 ロ) ユリア-メラミン共縮合樹脂接着剤 ハ) 第1種、第2種及び第3種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次に示す接着剤(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシンノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒のいずれも使用しないもの)：イソシアネート樹脂接着剤 単位体積あたりの接着剤固形量： 最大量 厚さ12mmで134 kg/m³ ～最小量 厚さ20mmで44 kg/m³
---------------	---

4. 申請仕様の断面図

申請仕様の断面図を図 1 及び図 2 に示す。



片面化粧
図 1 断面図

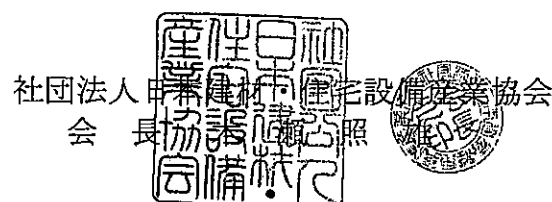


両面化粧
図 2 断面図

ホルムアルデヒド発散等級表示登録書
(更新)

平成21年3月26日

大建工業株式会社
代表取締役社長
澤木 良次 殿



貴社より平成21年2月20日に更新の申請がありました下記製品は、当協会にて定めているホルムアルデヒド発散等級表示規定により表示マークの使用を登録いたします。

記

(有効期限：登録日より平成24年3月31日)

表示登録番号	申請社名	製品名	発散等級区分	登録日	連絡先
K-000015	大建工業㈱	和天セット	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-000016	大建工業㈱	格天セット	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-000018	大建工業㈱	壁厚収納 (材質：メラミン樹脂)	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-000019	大建工業㈱	クロー X10 内部ユニットインカーサ (クロー引出し)	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-000020	大建工業㈱	掘ごたつユニット (炬箱タイプ)	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-000570	大建工業㈱	遮音床パッド 16	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-001721	大建工業㈱	パーティクルボード化粧板	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-001787	大建工業㈱	合板・ポリエステル樹脂製不織布複合化粧吸音板	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-001788	大建工業㈱	MDF・ウレタン発泡体複合化粧吸音板	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-001887	大建工業㈱	音調吸音板	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508
K-001957	大建工業㈱	片面張化粧 MDF	F☆☆☆☆	平成21年4月1日	情報業務部 03-3249-4508

(本登録は全て材料に関する登録である。)

(有効期限：登録日より平成 24 年 3 月 31 日)

表示登録 番号	申請社名	製品名	発散等級 区分	登録日	連絡先
K-001958	大建工業㈱	両面張化粧 MDF	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-001959	大建工業㈱	片面張化粧合板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-001960	大建工業㈱	両面張化粧合板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-001961	大建工業㈱	両面張複合化粧 板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-001970	大建工業㈱	MDF 化粧面材	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002002	大建工業㈱	7列板貼 MDF	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002058	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002059	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002060	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002061	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002062	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002063	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002064	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002065	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002066	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002067	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002068	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002069	大建工業㈱	化粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002079	大建工業㈱	二重床用防振脚 E 1	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002126	大建工業㈱	LVS (MDF, LVL 複 合材)	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002127	大建工業㈱	火山性ガラス質複 層板・MDF 複合化 粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002128	大建工業㈱	火山性ガラス質複 層板・MDF 複合化 粧板	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508

(本登録は全て材料に関する登録である。)

(有効期限：登録日より平成 24 年 3 月 31 日)

表示登録 番号	申請社名	製品名	発散等級 区分	登録日	連絡先
K-002269	大建工業㈱	オカベ L80 W600 タイプ	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002270	大建工業㈱	オカベ L80 W300 タイプ	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002271	大建工業㈱	オカベ L80 銘木 タイプ	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002272	大建工業㈱	オカベ L80 銘木 ポーター	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508
K-002273	大建工業㈱	オカベ L90	F☆☆☆☆	平成 21 年 4 月 1 日	情報業務部 03-3249-4508

(本登録は全て材料に関する登録である。)